



ライバル県 千葉との直接対決！

30日には、ラグビー少年男子1回戦で、36-12と千葉県に勝利。1日には、サッカー女子1回戦で0-3と千葉県に敗退、テニス少年男子3回戦で同じく千葉県に敗退。昨年の解団式で示したライバル県(本県が総合8位入賞を狙う上で競い合うことが予想される県)は、神奈川県・北海道・千葉県・茨城県。

2日は、バスケットボールの成年男子も成年女子も、ともに準々決勝で北海道と対戦する。また、3日には、ラグビー女子が予選プールで、北海道と対戦。今後の総合順位争いを左右する戦いとなる。



ソフトボール少年女子 準々決勝へ！

台風の影響で時折強い風が吹く会場。整列時の声、きびきびとした態度、執行監督(南筑高校<教>)をはじめとするスタッフの日々の指導が垣間見られた。

強豪埼玉県との1回戦は、2-1の逆転勝利。大久保朱里選手(南筑高校)の三塁打で見事逆転。試合中の監督やコーチのきめ細かなアドバイスが、『ワンチャンスを活かす』ことにつながったゲームであった。2日の和歌山県戦も大いに期待がかかる。

ソフトボール成年女子は、地元福井と対戦。一塁側も三塁側も福井の応援がある中、試合は膠着した展開となったが、相手の堅守にも阻まれ、得点を入れることが出来ず惜敗。本県選手団の旗手を務めた田川選手は、「自分たちの力を出せなかった。」と悔しがった。



【古園有紗投手(北九州市立)】



卓球全種別ベスト8確定！無敗の快進撃！

成年男子は1次リーグを3勝、少年女子はトーナメント3回戦に勝利し、ともに2日の準々決勝へと駒を進めた。また、成年女子と少年男子は、2日に1次リーグ残り1試合を残すも、ここまで全勝。決勝トーナメント進出の期待がかかる。

少年女子は希望が丘高校3人でチームを構成。3回戦は強豪東京都と対戦。一番手の稲吉選手が見事勝利し、チームに勢いをつけ、3-0で勝利。試合後、川田監督は、「この3人は、先輩・後輩関係なくアドバイスを行う。この関係性がチームに勝利をもたらした。」と、コメント。「東京戦は、絶対負けたくなかった。」と、口を揃えた3人には笑顔が輝いていた。



【稲吉美沙選手(希望が丘)】



明日につなげ！ テニス少年男女

男子は3回戦敗退、女子2回戦敗退となった。男子の対戦相手はインターハイ優勝の千葉県、女子の対戦相手は全国選抜優勝の三重県と、ともに格上の対戦相手との勝負であった。

勝負の主導権を握るべく、サービスから積極的に攻めたいところだったが、予測できない風の影響を受け、不安定なトスによるサービスミスでペースを掴むことができなかった。

県代表としての強い意識から県の国体ユニフォームで試合に臨んだ女子2名は、敗戦を悔しがった。男女4人ともに、「大学へ進学し、更にテニスを極めたい」と強く語った。今度は、成年種別としての活躍を期待する。

10月1日終了時点での総合成績			
	順位	都道府県	獲得点
➡	1	東京都	953
⬆	2	福井県	725.5
⬇	3	長野県	714
➡	4	神奈川県	710.5
⬇	5	北海道	685.5
⬇	6	埼玉県	672
⬆	7	大阪府	563
➡	8	愛知県	555.5
⬆	8	福岡県	555.5
⬆	10	兵庫県	487

*黄色は、昨年の結団式で示したライバル県

国体の情報については、大会ホームページ (<http://fukui2018.pref.fukui.lg.jp/>) より、ご覧ください。
※Facebookにおいても情報発信を行っています。「ふくおかスポネット」で検索してご覧ください。

【発信元】福岡県立スポーツ科学情報センター スポーツ推進課 企画情報係